1_当市で10月31日・11月1日に開催された大会には、 日本のトップクライマーたち35人が集結 2_次世代を 育てる教室も定期的に開催

日本一がやってくるまち。 クライミングがさらに活性化!

12月26日・27日、東京オリンピック代表内定選手なども出場する「コンバインドジャパンカップ2020」が石鎚クライミングパークSAIJOで開催。事前合宿でもオリンピック強化選手が当市を訪れるなど、国内有数の3競技場がそろう施設として活用されています。今年もオーストリア共和国との交流や、大会や合宿の誘致、市民向けの教室などを行い、クライミングの聖地を目指します。





公共施設を「縮充」し、持続可能なまちへ。チャレンジを応援する施設を整備します

合併により同規模の自治体に比べ、当市にたくさんある公共施設。それらの更新費用など、負担を将来世代に先送りしないため公共施設の在り方を市民の皆さんと一緒に考える話し合いを進めています。そして、持続可能なまちを目指し、公共施設の再編を進めます。こどもの国は、市民の交流とチャレンジを応援する「(仮称)ひと・夢・未来創造拠点複合施設」として再整備します。





1_「複合施設をどのように使いたいか?」などを話し合ったワークショップ 2_改修されるこどもの国(令和4年7月開館予定)

地域ポイントで 地域経済を元気に

わくわく健康ポイント事業で 貯めたポイントを、登録された 市内店舗で利用する実証実験を 行いました。今年も引き続き、 健康的な生活習慣の実践と、地 域経済の活性化を目指します。

若者世代が住みたい 田舎で日本一に

(株)宝島社が公表する「2020年版 住みたい田舎ベストランキング」の若者世代部門で全国第1位を獲得。移住者が増えるなど、「勝ち残るまち」に向けての一歩を踏み出しています。

がんになっても安心 して暮らせるまちに

これまでも、市民の皆さんと のがん対策の勉強会などを継続 的に開催してきましたが、より 総合的に推進するため「西条市 がん対策推進条例」の制定を目 指します。

持集

一年の振り返りとこれから

西条の未来を創る

市では、ワクワク度日本一のまちづくりの実現に向けて、さまざまな取り組みを推進しています。 昨年の主な取り組みや、今年も特に力を入れていくものを担当職員と一緒に紹介します。

新型コロナに負けない。 さまざまな支援や対策を行っています!

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症から市民の皆さんを守るため、マスクの購入や窓口への飛沫防止パーテーションの設置など、各種感染症対策を実施。チラシやLINEなどによるいち早い情報の発信や、動画などでの中止となった事業・イベントのフ

ォローなども行いました。また、経済活動の停滞を背景として、売上減少が著しい小規模事業者の支援や、 各種消費活性化策の実施に努めました。

今年も、引き続き皆さんの生命と財産を守る観点から対策を行っていきます。







1_地域応援券で市内飲食店や小売店などを支援 2·3_中止になった講座や実施できなかったイベントを補うため、さまざまな動画を作成。市公式YouTubeで公開中 4_感染予防のため、保育所などに衛生管理用品を購入





05 広報さいじょう 2021. 1

ワクワク度日本一を実現するための五つの基本政策



つ がる な が 西条 ()

まち西条 が持 7 る

住 みた (J 西条

> 増進に向けて全力投球する 守るとともに、住民福祉の

運営にチャレンジしたいと 身に染みて感じ、再び市政 課題が山積していることを

が募ることとなり

なり、市民の生命と財産を を担わせていただくことと

初めて市長職という重責

けて、

まだまだやり残した

可能な西条市」の実現に向

んなで実現しよう

の達成目標である

平成28年~令和2年

市総合計画 緒に策定した

ことができたと評価して

令和6年度

ました。 いう思い

れています

市民主役 0)



第1ステー

ジ (1期目) の振り返り

に向けて市民の皆さまと一

「第2期西条 後期基本計



を推進





公立幼稚園に、エアコンを完備 3_アウトドア活動の拠点施設「アウトドア

1期目の主な成果 1_地域自治組織がスタート 2_市内全ての小・中学校と オアシス石鎚」がオープン 4_ベトナム・フエ市と友好都市提携を締結

決して小さく縮こまるので 況にありますが、私自身、 と思っています。 に出したまちづくり と見据えつつ、 えるべきもの」を 依然として厳し 西条らしさを前面

財政状

西条」になるために重要だ 本市が真に「勝ち残るまち 備を積み重ねておくことが に向けてしっかりとした準 て「残すべきもの」と「変 ナウイルスの終息後に向け そのような中、 2025年 新型コロ しっかり

大きな環境の変化が予測さ に転じるようになるなど、 進行するとともに、 向けて一層の少子高齢化が 人口がピークを迎えて減少 25年に 東京の

第2ステ 令和2年~令和6年 ジ (2期目)

ワクワク度日本一のまちづくり

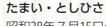
第2ステージ開幕

令和2年11月28日、玉井敏久市長の2期目がスタート。 4年間全力投入を貫き、今後も西条が抱えるさまざまな課題に チャレンジを続ける市長の思いを聞きました。



ONの市長

令和元年5月 オーストリア共和国 セーボーデン市と友好都市提携締結



昭和38年7月15日生まれ。昭 和54年西条高校に入学し、野 球部に所属。卒業後は四国電 力(株)に入社、平成19年より愛 媛県議会議員を3期経験。平 成28年西条市長に就任。57歳。



尊敬する人

諸葛孔明、長嶋茂雄、イチロー

座右の銘、モットー

「事を敬して信あり」「足は現場 に 胸には祖国を 眼は世界へ

愛読書

政治・政策に関する本

西条秋祭りの楽しみ

御殿前でのだんじり・みこしの 練り、各神社の祭礼巡り

休日の楽しみ

丸一日の休みはなかなかありま せんが、3人の孫との触れ合い

野球のポジション

チームの要「キャッチャー」

元阪神タイガース・東北楽天ゴールデンイー グルス 沖原佳典選手 (西条高校OB・市長 の後輩) のサイン入りバットを持って

市民の皆さんに聞きました - 令和3年、こん弥画祭前に称ってほしい!









